# うさぎとかめ通信　上越市立高田幼稚園

（週刊：園長室だより）１０６周年

令和５年１月１９日　第１７０号　HPのQRコード→

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本！


【速報：1/13園庭でたこ上げで遊びました。良寛さんの「天上大風」みたいでした。】

## 子どもの姿から

【だるま運びレースの紅白だるま】→

**10日（火）は、新年おたのしみ会でした。**

まずは、遊戯室で独楽や羽根つき、けん玉などのお正月の遊びを華やかに紹介しました。次に、十二支の歌クイズをリズミカルに楽しみました。職員が十二支のお面をつけて、元気いっぱいに踊りました。

さらに、園児の皆さんが２チームに分かれて、だるま運びレースに取り組みました。大きな赤だるまと白だるまを風呂敷に載せて、園児が２人ずつしずしずと運ぶ上品なリレーでした。そして、新春宝探しでは、遊戯室の中でウサギの当たりくじをみんなで探し、賞品の独楽を園児一人一人が獲得しました。くじが当たった時には軽やかな鐘の音が響き渡りました。今年も「独楽回し名人」がたくさん生まれそうですし、羽根つきトレーニングコーナーもできたので「羽根つき名人」も生まれるかもしれません。

## 園庭・園舎から

【園児が作った繭玉飾り】→

**12日（木）に、まゆ玉づくりをしました。**

今年一年の皆さんの健康と幸せを願って、紙粘土の団子を桜の枝に飾りました。紅白の丸々とした団子が華やかでかわいらしく、めでたい雰囲気でした。園児の皆さんが根気よく紅白のバランスをとってまゆ玉を作り、本当にびっくりして感激しました。

繭玉飾りは小正月の行事として、一般的にはミズキやヤナギの枝に餅や団子を飾る花餅が多いようです。東日本では養蚕にちなんで繭形の餅を飾ることもあります。今年もお家に持ち帰ったり、園の玄関に飾ったりしました。

## キーワード

【高田幼稚園の玄関の繭玉飾り】→

**○「どうする家康」と榊原康政公**

今年のＮＨＫ大河ドラマは、松本潤さん主演の『どうする家康』です。このドラマには、高田藩の藩祖である、榊原康政公（1548-1606）が登場し、杉野遥亮さんが演じます。

榊原康政公は、三河国上野（愛知県豊田市）に生まれ、幼名を亀、のちに小平太と名乗りました。徳川家康公（1542-1616）の家臣として、16歳で初陣し、姉川、長篠、山崎、小牧・長久手などの合戦で武功を立て、江戸幕府創立（1603年）に尽くしました。酒井忠次公（1527-1596）、本多忠勝公（1548-1610）、井伊直政公（1561-1602）とともに徳川四天王と呼ばれ、後に上野国館林（群馬県館林市）で譜代大名となり、幕府の老中職も務めました。榊原家は館林藩、白河藩、姫路藩、村上藩、姫路藩、高田藩と移り、高田藩が明治政府による廃藩置県で廃止された後は、大手町にある榊神社に祀られています。　（参考：上越市、群馬県、姫路市のサイト）